

私たちはお客様の成長を支援し、“力チあるもの”を創ります

the Heartful OAG

Vol. **224**

2023年12月



- 02 太田孝昭が語る元気になる言葉・春夏秋冬
自責と他責
- 03 創業35周年特別企画
OB・OGの皆さまからのメッセージ
最終回
- 04 創業35周年 anniversary event
OAGグループ感謝祭
- 06 株式上場目的は資金調達だけではない
経営課題の解決策の手段としての
TOKYO PRO Market上場

- 08 Challenge!!OAG/OAGのSDGs
富士山クリーン活動
- 10 私のOff-Time
冬の過ごし方
- 11 安のカメラ紀行
下町歴史探訪 第5弾
「皇居東御苑と宮殿参観」
- 12 新刊書籍／トピックス



コーポレートサイトで
PDFファイルを
ご覧いただけます



元気な
経営の
ワンポイント!

太田孝昭が語る

元気になる言葉

春夏秋冬

自責と他責

会社経営は上手く行かない事が多くありますね。何を以て上手く行っているのか、行っていないのか、判断そのものが難しい事でもあります。しかし、上手く行っていない事が端的に現れるのが、人事上のゴタゴタです。人が辞める事で、問題の大きさに気付くんです。人が辞める事で問題に気が付き、慌てて対応策なり、解決策を考える事になります。人が辞めないと問題に気付かない事自体が問題だと思いますが、現実はそのような所です。

さて、会社の強さは問題が起きてからの解決に現れるのではないかと考えています。問題は起きます。要はその解決です。教科書的に言えば、

「**落ち着いて原因究明し、果断に解決する。**」

ですが、実際にはとても難しい。何故なら人が絡むので、失敗する事もあるし、組織にひびが入る事もあります。

そこで**最も大事な事は、この問題が誰の責任かという事**です。一番の責任者は組織のトップです。トップが自分の責任（自責）であると自覚するかどうかです。自責であると自覚したトップは、まず自分の反省からします。自分の失敗は何なのか。その上で根本から解決するには、どうすべきかを考えます。これを自責的解決と言います。私が問題解決にこそ、会社の強さが現れると思う所以です。何故なら強い会社は問題（ピンチ）をチャンスに変えています。

他方、「**彼が悪い**」で終わってしまう解決を他責的解決と言います。いわゆる責任転嫁です。この他責的解決の何と多い事か。この事が会社を弱体化させる原因になるんです。問題発生には何らかのペナルティが付きまします。これが嫌なんです。だから他責にするんです。人として、問題を自分の責任にするのは本能的に嫌だし、ペナルティも嫌いです。分からないわけではありません。しかし他責では本人は成長しません。会社も弱体化します。

強い会社とは、「**トップに始まり、自責的解決の出来る人が多くいる会社**」という事になりますね。

OAG税理士法人は おかげさまで創業35周年を迎えました

≫ OB・OGの皆さまよりいただいたメッセージを掲載させていただきます

最終回

ボス おめでとう！

創業35周年、誠におめでとうございます。

太田代表を始め社員の皆様の日々の研鑽、努力はもちろんのこと、何よりお客様のご支援があったからこそ、これだけの規模になられたことと、OBとしても大変感謝しております。

太田孝昭代表と初めてお会いしてから既に35年が経ち、かねてから敬愛の念を込めて「ボス」と呼ばせていただいておりますので、以下そのようにさせていただきます。

税理士試験終了後に就活を始め、当時は現在と同じような売り手市場で、私のような未経験者でも志望すれば採用していただけた状況でした。面接で初めてボスにお会いした印象は、暖かく優しい方でした。（それは今でも変わりありませんが）

大手事務所やある程度の規模、歴史のある事務所も内定はいただいていたのですが、こちらを選ばせていただいたのは、事務所とともに自分も成長したいという思いがあり、オープニングスタッフとしてどこまで発展させられるか挑戦してみたく、未熟な私でも快く採用していただけたことは本当に感謝しております。

昭和63年9月5日に入社した当時は、新宿のワンルームマンションの一室でした。事務所の奥には所長席、来客用テーブルとパソコンの作業台、社員用の机が2台でもう一杯です。ユニットバスは書籍、事務用消耗品置き場になっていました。スタッフは私と女性の先輩の2名のみ、ボスはほとんど事務所にらず営業に駆け回っていました。

初めての忘年会はボスの行きつけの居酒屋で、のちに上司となる和田さんも参加して4名という今では考えられないものでした。

創業期はとにかく目の前の仕事に取り組むのが精一杯でしたので細かな記憶はありませんが、忙しく大変だった頃が一番楽しく充実していたような気がします。

その後、ボスには色々なステージを用意していただき、事務所が成長期、安定期と着実に規模を拡大する中で、29年9か月で退職させていただくことになりました。

妻の夢でもあった飲食店起業も一因で、まだ頭と身体が動くうちにと、退職後の現在は全く畑の違う飲食業をしています。

開業してからはたくさんのOAGのスタッフやOB、OGの方たちにもご来店いただき、またご常連のおかげもあり順調に経営していたのですが、その後のコロナ禍で長期間の営業時間短縮や休業を強いられました。

小規模の店舗なので協力金で充分賄え、生活には困りませんでした。何もすることがないというのは辛いものです。

ボスは退職してからも年に数回励ましや助言の連絡をくださっていたのですが、そんな休業の最中にいただいたメッセージがあります。

三国志「曹操」の詩の一部「老驥伏櫪 志在千里 烈士暮年 壯心不已 / ろうきれきにふすともこころざしせんりにあり（老いたる駿馬はかいばおけに伏すも、千里のあなたに夢を馳す、勇者は年老ゆるとも、たけき心の已むことなし）」ですが、ボスは「年老いた名馬はたとえ厩舎に繋がれていても千里を走る気構えを持っている、ましてや勇者は歳を取っても夢を忘れられない」と訳して使っているそうです。

いつでも営業再開できる準備をして、挑戦する意欲は止まないようにしようと思ったものです。

ボスの夢は果て無く続きそうですので、OAGは挑戦を続け更なる成長をすることでしょう。

最後に、OAG並びにお客様の今後ますますのご発展とご活躍を祈念しております。

ボスにおかれましては、いつまでもお元気で。

<以下、店舗紹介>

桜上水駅から徒歩1分、美味しいやきとりを提供するお店です。店舗としては6年目になりますが、2023年3月に業態変更を行いリニューアルいたしました。

やきとり以外にも野菜串、揚げ物、一品料理もご用意。カウンター 8席、テーブル席(4名)2卓の小さいお店ですが、居心地のいい酒場として、お一人様、ご家族でもご利用いただけるよう、スタッフ一同ご来店お待ちしております。

山本 優
Yamamoto Masaru

サクラバ

やきとり サクラバ

東京都世田谷区桜上水4-17-4 桜上水駅前ビル1F

電話：03-6379-8021 京王線桜上水駅から徒歩1分

 <https://www.instagram.com/yakitori.sakuraba/>





創業35周年 anniversary event OAGグループ感謝祭

創業35年の節目の年を迎え、多くの方々に支えられOAGが歩んできたこれまでの道のりを振り返ると改めて“コミュニケーション”の重要性を感じます。記念すべき周年イベントは、「社員同士が楽しいことをいっしょに。コミュニケーションを深めよう!」をテーマに企画検討を重ね、8月は東京、9月には大阪で、社員の家族を招待した懇親会を行いました。そして周年の締めくくりとして、11/10(金)グランドニッコー東京ベイ舞浜において顧問の先生方をお招きし、総勢428名のOAGグループの社員が一堂に会した懇親会を執り行いました。

これほどの人数が集まった社内懇親会は35年に及ぶ歴史の中で初めてとなり、なかなか普段は話す機会の少ない社員同士がグループや部門の垣根を超えて交流を深め、楽しいひと時を全員で共有することができました。



“長年の功労を称えて”
永年勤続者より周年に対する
思いをお話いただく場面も…

太田孝昭グループ代表より社員に贈られたメッセージ

OAG 創業 35 周年

感謝

皆さんとともに、これからも

皆さん

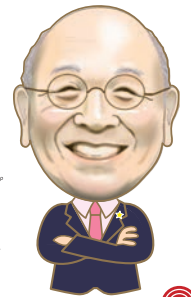
あっという間に35年が過ぎました。

皆さんが、居たからこそ来てました。

皆さんが、居るから未来があります。

本当に有難う御座います。

OAG グループ
代表
太田 孝昭



OAG



懇親会のあとは…
全員にプレゼントされたチケットで「夢の国」へ行って遊びました!



株式上場目的は資金調達だけではない

経営課題の解決策の手段としての TOKYO PRO Market上場

事業規模の大小を問わず、多くの非上場の会社経営者に共通するお悩みとして、優秀な人材を採用したいがうまくいかない、適切な後継者がおらず事業承継が叶わない、会社の信用力の問題で商談が成功せず取引を拡大できないことを耳にします。このような問題を解決できる一つの解決方法として、上場の初心者向け市場の位置にあるTOKYO PRO Marketへの上場が注目されており、毎年、その上場会社数は増加しています。

1. TOKYO PRO Marketとは

日本初の国際ベンチャー市場として、東京証券取引所とロンドン証券取引所が合併設立したTOKYO AIM取引所が、2012年7月に東京証券取引所に吸収合併され、東京証券取引所が運営するプロ投資家向け株式市場であるTOKYO PRO Market(以下、TPMという)として再スタートしました。2022年4月4日に市場区分が見直されましたが、個人投資家も参加可能な市場であるプライム市場、スタンダード市場、グロース市場とは別に、TPMは引き続きプロ投資家向け市場として位置付けられています。



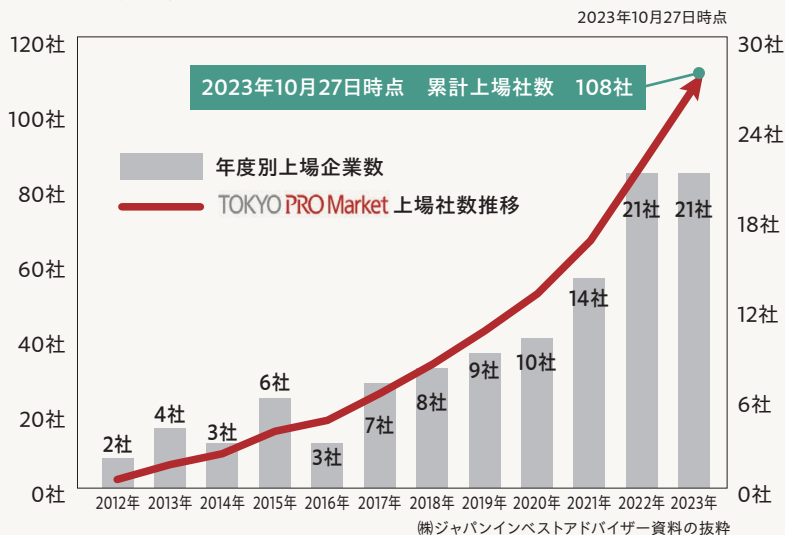
2. TOKYO PRO Market上場会社の特性

近年は、株式上場による資金調達の目的のみならず、企業価値の向上のための手段の一つとしてTPM上場が捉えられており、TPM上場会社数は増加傾向にあります。

そのTPM上場会社の特性として、売上規模が30億円以下のケースが過半数を超えており、事業規模が比較的小さい売上3億円以下の会社も上場を実現しています。その業種も高い成長可能性を有する企業向けの市場であるグロース市場のように情報・通信業関連、サービス事業関連といった業種に偏ることなく、製造業・不動産業・建設業を営む会社も多く上場を果たしています。また、TPMに上場した会社の地域割合は、2023年10月27日時点で東京で36社(33.3%)、東京以外で72社(66.7%)と地方上場が多く、2022年に上場した70社の8割以上が東京に集中しているグロース市場とは状況が大きく異なります。

このような背景から東京証券取引所の一般市場への上場にはまだ届かない小規模の成長途上にある会社や地方から上場を目指したい意欲を持った幅広い業種の会社が続々とTPM上場に向けた準備を進めています。

TPM上場社数の推移



TPM上場会社の売上規模

売上区分	会社数	割合
～3億円	13	12.0%
3～10億円	19	17.6%
10～30億円	41	38.0%
30～50億円	12	11.1%
50億円～	23	21.3%
合計	108	100%

（株）ジャパンインベストアドバイザー資料より作成



OAG監査法人
公認会計士（パートナー）
高橋大樹

3. TOKYO PRO Marketの 主な特徴

TPMの特徴として、まず一般市場と比較して基準が緩和されている点が挙げられます。特に形式基準(株主数、流通株式、売上などの財務数値)が設けられておらず、経営者はオーナーシップを維持したままで上場が可能になります。

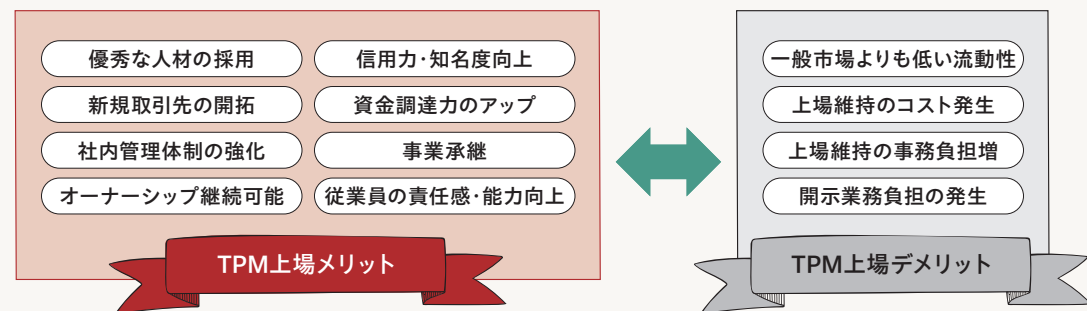
TPMは、J-Adviser制度を採用しており、東京証券取引所は一定の資格要件を満たしたJ-Adviserに上場審査業務を委託します。J-Adviserは、上場申請会社の上場適格性の調査・確認に止まらず、上場に至るまでの助言指導や上場後の支援(上場適格性維持の確認、開示支援等)も行います。

また、上場準備開始から上場承認までの期間が一般市場と比べて短期間になります。例えば上場前の監査法人による監査は2会計年度ではなく1会計年度が対象になります。

しかし、短期間であるが故、コーポレートガバナンス及び内部管理体制の整備、適切な開示規則・義務を理解したうえで十分な開示体制の整備に対する課題については、J-Adviserや監査法人と適時に連携をし、解決を図ることが肝心になります。

4. TOKYO PRO Market上場のメリット・デメリット

日本の全事業会社数のうち、何%の会社が上場しているかご存じでしょうか。答えは0.1%にも至りません(2022年4月時点)。そのため一般市場の上場会社と同様にTPM上場会社も希少価値が高く、他社との差別化によって様々なメリットがもたらされます。



筆者の経験では、信用力・知名度の向上とその効果を期待してTPM上場を目指す経営者が多いという印象があります。特に人材確保がままならず、事業規模の拡大の機会を逸している会社は、上場による企業イメージの向上による優秀な人材の確保と信用力の向上による取引拡大のメリットを期待しています。

しかし、TPMは一般市場と比較して流動性は低い市場というデメリットがあり、また、上場によって開示などの業務負担や上場維持のためのコスト負担の増加が生じます。加えて上場準備の段階では、既存の管理体制の見直しや、会計処理の再検討、監査対応など慢性的なマンパワー不足の中、取り組むべき非常に多くの課題に直面します。このような状況下では信頼できる外部の専門家(コンサル会社、税理士など)の活用を検討するとともに、監査法人と早期に自社の会計処理の論点を洗い出し、上場直前期の監査に備えるなど、前広に対策を講じることが早期の上場につながります。

OAG監査法人は、 自由・平等・信頼を基本理念とするプロフェッショナル集団です

お客様とのコミュニケーションを大切に、確かな信頼のもと、高品質なサービスを提供いたします。医療法人監査では、トップクラスの実績を有している他、さまざまなアドバイザー業務でも高いご評価をいただいております。

お問い合わせ先

OAG監査法人

Tel. **03-6265-6598** (東京)
06-6310-3200 (大阪)

ホームページ お問い合わせフォーム



Challenge!! OAG/OAGのSDGs



富士山クリーン活動

10月28日(土)、現地のマウントフジトレイルクラブ様、富士山ミュージアム様の方々のご協力の下、今年も「富士山クリーン活動」を実施いたしました。総勢約30名が参加し、3時間活動して対象エリアを一掃いたしました。



バスで出発!



昼食

マウントフジトレイルクラブ (太田 安彦様)

グループ代表 太田 孝昭



【 行程表 】

7:30	集合 (新宿センタービル前) / 点呼
8:00	出発
9:30	談合坂SAパーキング到着<トイレ休憩15分>
9:45	出発
11:00	ニューあかいけ到着 (昼食) ※朝早いので早めの昼食
12:15	出発
12:30	清掃活動場所 (CAMP AKAIKE / キャンプあかいけ) 到着 マウントフジトレイルクラブ様と合流
12:45	開会式 ※注意事項説明
13:00	清掃活動開始 (約2時間) 『ゴミ分別・分析しながらゴミ問題の解決方法を考えよう』
15:00	清掃活動終了
15:00	閉会式『SDGsについて』
15:15	記念撮影
15:30	出発
16:30	談合坂SAパーキング到着 <トイレ休憩&土産30分>
17:00	出発 ※以後、必要に応じてトイレ休憩
19:00	到着・解散 (新宿センタービル前)



- 富士山は世界文化遺産に登録されているにも関わらず、観光客のゴミのポイ捨てや、タイヤなどの不法投棄のゴミ問題が依然として課題となっています。
- 今回は、富士山の麓の清掃活動を通して「ゴミが捨てられることにより引き起こされる土壌汚染の問題からSDGs (持続可能な開発目標) について考える」ということを活動目標として掲げました。
- SDGsの17個のゴールの中では「⑥安全な水とトイレを世界中に」「⑭海の豊かさを守ろう」「⑮陸の豊かさを守ろう」に関わるアクションでしたが、陸の環境問題を改善することにより、海の豊かさを守ることにも繋がっていくことから、SDGsのゴールは密接に関わり合っているということを学びました。



精進湖でとれたワカサギのフライ定食。名物の「ほうとう定食」「鹿カレー」も最高でした!

レストラン「ニューあかいけ」

開会式



埋まっているタイヤの掘り出しです。

活動に出発!

最後の分別も大事です!

Finish



こんなにゴミが集まりました



クリーン活動の様子



動物の骨なので、自然に帰るようにそのままにしました。

私の Off-Time

OAG税理士法人東京ウエスト
法人
恩田 亮宏

冬の過ごし方

涼しい日が増えてきて、すっかり秋になりました。今年の夏の酷暑が嘘のようですね。このままあつという間に葉は落ち、季節は冬になることと思います。

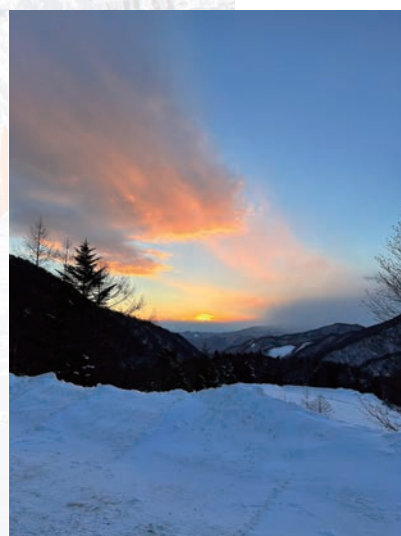
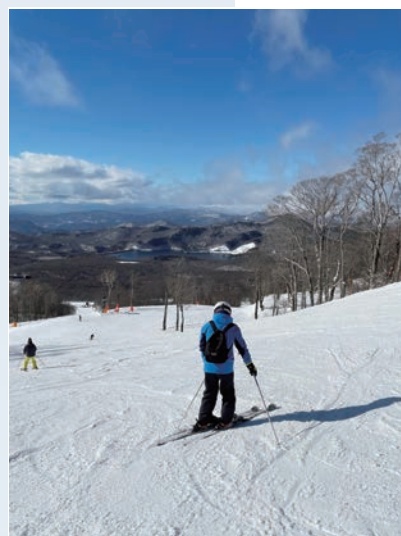
皆さんは冬といえば何を思い浮かべますか？
そう、雪山です。ようやく今年もスキーのシーズンが始まります。都会の喧騒から離れ、見渡す限り白銀の世界で友人と風を切って滑る。できもしない難しい滑りをしようとして転び、笑いあう。

滑った後は温泉に入って汗を流し、すっかり行きつけになった焼き肉屋で飲み食いする。こんなことを大学時代の友人と、卒業してから毎年3～4回は続けています。

大学時代から8年程スノーボードをやっていたのですが、去年からスキーに挑戦しています。
理由はスノーボードをするのが疲れるようになってしまったからです。リフトに乗っている間、片足にボードの重さがのしかかるのと、リフトの前後で靴とボードを付けたり外したりする必要があるため面倒になってきました。大学時代は気にならなかったのですが、歳のせいでしょうか。まだ20代なのですが。

スキーは中学生の時に少しやっていたので、10数年ぶりになります。スノーボードとは勝手が違うところも多いため、転んだり思うように滑れなかったりというようなこともあります。友人と一緒にだとかこのようなことも良い思い出と思えるので不思議なものです。

今年の初スキーは年末になりそうです。繁忙期ではありますが、何とか仕事を終わらせて雪山に旅立てるよう、年内の仕事に精を出していこうと思います。



安のカメラ紀行

下町歴史探訪 第5弾 皇居東御苑と宮殿参観

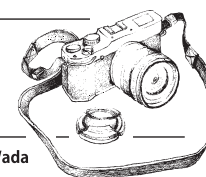


Photo by Yasuyoshi Wada



▲ 大手門前にある鯱

竹馬の友との下町歴史探訪の第五弾として皇居東御苑と宮殿を参観してきました。皇居は首都東京のど真ん中にあるにも拘らず、意外と散策する場所として知られていないような気がします。想像するに地方の小中高校の修学旅行では東京が定番であり、必ず皇居がコースになっていて、二重橋前で集合写真を撮り、その写真が卒業アルバムに載っているの、皇居は一度行ったことがある思い出の場所であり再訪するまでもないと思っているのかもしれませんが。僕が学んだ山梨にある小学校では5年の時の遠足が東京見物だったので、僕自身もそう思っていました。

今回は東西線の竹橋駅で待ち合わせした後、前川門から皇居東御苑に入って行きました。歩き初めの時は小雨が降っていましたが、いつの間にか雨も止み、気が付くと周りには、欧米の観光客が大勢歩いていました。皇居の案内パンフレットには「皇居は徳川将軍の居城・江戸城だったところ。広さは皇居外苑を含めると230万坪あり、東京ドーム49個分に相当する。皇居周辺散歩の楽しみは、江戸城の遺構と、それらと一体となった庭園や植栽の美しさにある。丸の内は日本を代表するオフィス街。ブランドショップが並んだ洗練された街並みで、人気の散歩コースである」と記載されています。やはり外人観光客が惹かれるであろう紹介文でした。

皇居東御苑は、都心にも拘らずお堀と木々の緑に囲まれたオアシスであり、江戸時代の面影を彷彿とさせる歴史の旅も味わうことが出来ます。大奥や松の廊下だった場所はその跡である表示しかありませんが、天守台、富士見櫓（ふじみやぐら）、



▲ 東御苑の天守台



▲ 宮殿東庭

富士見多聞、百人番所、同心番所など当時のままや再現されたものなど選り取り見取りで、江戸城の歴史を振り返ることが出来ました。

東御苑参訪の後は、事前にWEBで申込をした皇居宮殿の参観をしました。現在は一日につき午前と午後でそれぞれ1回ずつで240人が定員で、参観前の説明会では日本語・英語・中国語で紹介され3組に分かれて参観をすることになっていました。参観は富士見櫓から始まり、宮殿、東庭・南庭、伏見櫓を間近に見ることが出来たことや皇居広場からしか見たことがない二重橋（正式には正門鉄橋）を渡ることが出来たことです。

宮殿からの帰路は山下通り、乾通り（いぬいどおり）を通りながら荘厳な富士見多聞と富士見櫓を見上げながら出入口である桔梗門まで来て参観は終了し、探訪隊の二人は十分に満足した皇居宮殿参観でありました。

その後、皇居前広場を歩き、中学校時代の恩師がここから見える丸の内のビル群のことを戦後日本の経済発展の象徴であることを語っていたことなどを話しながら、修学旅行で集合写真を撮った二重橋前でその時代に思いを馳せました。最後に楠公レストハウスで休憩を取りながら、皇居外苑と書かれたどら焼き（宮内庁御用達ではありませんが）を美味しく戴いて解散しました。

- 皇居探訪日: 2023年5月20日(土)
- スタート: 10時30分 解散: 15時30分
- 所要時間: 5時間
- 歩 数: 2万2千歩



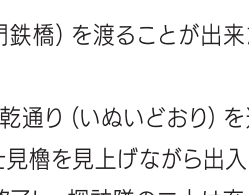
▲ 富士見多聞



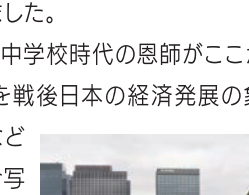
▲ 富士見櫓



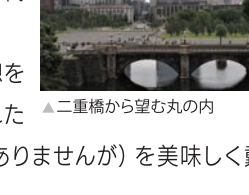
▲ 伏見櫓



▲ 二重橋から望む丸の内



▲ 二重橋から望む丸の内



▲ 二重橋から望む丸の内



▲ 執筆: 和田 安義

安の今月の一句

しゃちほこ

「鯨や 友のマスクに 何思う」



新刊書籍

あなたが独りで倒れて困ること 30

OAG司法書士法人 代表司法書士 太田垣章子の書籍が発売されました。
2025年には6世帯に1世帯が一人世帯になります。「既婚だから大丈夫」「子供がいるから大丈夫」「持ち家だから大丈夫」……本当にそうでしょうか。
未婚でも既婚でも、お子さんがいてもいなくても最後はみんな「おひとりさま」です。
「尊厳信託」という見地から、ご高齢者のサポート事業を中心に活動してきた太田垣による、リスクとその対策を丸ごと一冊にまとめました！
是非お読みください。

発売日 2023.11.8
発行 株式会社 ポプラ社
著者 太田垣 章子
価格 1,760円(税込)

詳細はコチラ

<https://www.poplar.co.jp/book/search/result/archive/8008439.html>



トピックス

OAG税理士法人が「Best Professional Firm2023」に選出されました

管理部門・士業特化型エージェンツ業界最大手のMS-Japan様が主催されている、「Best Professional Firm2023」にOAG税理士法人が選出されました。
「Best Professional Firm2023」とは、会計、税務に関するサービスを提供するおよそ4,000法人を対象にした、「成長性」「事業規模」「専門性」「人材力」での観点から基準が設けられ、審査、選出されます。
OAG税理士法人のインタビューは以下よりお読みいただけます。

詳細はコチラ

<https://www.manegy.com/bpf/company/oag-group2023/>



OAGグループのセミナー、メディア掲載情報、
新刊書籍などはこちらをご覧ください



<https://www.oag-group.co.jp/information/>



本店

〒102-0076
東京都千代田区五番町6-2
ホームポートライズビル
TEL:03-3237-7500(代)
FAX:03-3237-7510



■発行人: グループ代表 太田孝昭
■企画: グループ経営管理本部 マーケティング・コミュニケーション室
(里見晶、齋藤恭子、川島朋子、平坂直子、井上佳奈子、佐藤基哉)
■制作・印刷: 株式会社野毛印刷社

■札幌

〒060-0001
北海道札幌市中央区北1条西8丁目2-39
ISM札幌大通ビル4階
TEL: 011-590-5174 FAX: 011-590-5175

■仙台 (サテライトオフィス)

〒980-0811
宮城県仙台市青葉区一番町1-9-1
仙台トラストタワー 10階CROSSCOOP内
TEL: 022-209-5339

■埼玉

〒350-1123
埼玉県川越市脇田本町13-5
川越第一生命ビルディング3階
TEL: 049-265-8685 FAX: 049-265-8687

■東京ウエスト

〒182-0022
東京都調布市国領町4-51-7
ビエール・シークル2階
TEL: 042-441-2191 FAX: 042-441-2192

■富士吉田 (計算センター)

〒430-0016
山梨県富士吉田市松山4丁目3-14
アークフジ1階3号室
TEL: 0555-73-8571

■名古屋

〒460-0003
愛知県名古屋市中区錦2-13-30
名古屋伏見ビル9階
TEL: 052-746-9313 FAX: 052-746-9312

■大阪

〒564-0063
大阪府吹田市江坂町1-13-33
進和江坂ビル7階
TEL: 06-6310-3102 FAX: 06-6310-3103

■福岡

〒810-0042
福岡県福岡市中央区赤坂1-14-22
センチュリー赤坂門ビル6階
TEL: 092-717-6650 FAX: 092-717-6651



OAGグループ
コーポレートサイト



メルマガ



YouTube

OAGグループ
X (旧Twitter)アセットキャンパスOAG
X (旧Twitter)

【お願い】ご住所などお客様情報をご変更された場合はお手数ですが、弊社担当者にご連絡をいただければ幸いです。情報更新の、発送させていただきます。